

〈資料〉

2016年度「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト報告

柿内真紀・大谷直史

はじめに

昨年度に引き続き、教員養成センターでは、2016年度後期に「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト（2016年度学長経費（教育・研究推進経費））を企画実施した。プロジェクトは以下のように、〈学び〉、〈遊び〉、〈つなぐ〉の3つで展開した。

〈学び〉 現職教員の方々から、授業づくりやクラスづくりの極意を学ぶこと、教職に就いた後に続く、教員としてのさまざまなキャリア形成のあり方を学ぶことを目標として、「学びの教室」および「学びのパネル」（パネル・ディスカッション）を実施した。加えて、昨年度に引き続き、好評であった若手現職教員と教職への不安や希望について、現在の学校についてざくばらんに語り合う「学びの座談会」を実施した。

「学びの教室」(全6回)

- 第1回 10月19日(水)
講師：山内佐緒理 鳥取市立浜村小学校教諭 〈図工・学級経営〉
- 第2回 10月25日(火)
講師：大島泰文 鳥取市立湖東中学校教諭 〈社会・生徒会活動〉
- 第3回 11月15日(火)
講師：井上美也子 湯梨浜町立東郷小学校教諭 〈国語〉
- 第4回 11月21日(月)
講師：岡田年史 鳥取市立青谷中学校教諭 〈理科〉
- 第5回 12月12日(月)
講師：西村知子 鳥取市立富桑小学校教諭 〈音楽・学級経営〉
- 第6回 1月16日(月)
講師：木島義彰 鳥取県立智頭農林高校教諭 〈数学〉

「学びのパネル」(全2回)

- 第1回パネル 12月8日(木) テーマ「学級経営」
(コーディネーター：教員養成センター教員 小谷健一)
パネリスト： 瀧井 夏 鳥取市立散岐小学校教諭
前田 徹 八頭町立郡家西小学校教諭
西田規子 鳥取市立久松小学校教諭
- 第2回パネル 12月9日(金) テーマ「関係機関との連携」
(コーディネーター：教員養成センター教員 石本雄真, 小谷健一)
パネリスト： 浪花英樹 いじめ・不登校総合対策センター指導主事
坂口景亮 鳥取市立河原中学校教諭
國富一郎 鳥取市教育委員会学校教育課スクールソーシャルワーカー

「学びの座談会」(全1回)

- 1月12日(木)
梶川大輔 鳥取市立城北小学校教諭
柿田あかり 鳥取市立千代南中学校教諭

〈遊び〉 遊びを取り入れた教育実践に学ぶことを目的として「遊びの教室」を開催した。クラブ活動（ボードゲームクラブ）の時間に小学生とともに活動を行う（第1回）ことや、遊びの教育実践事例を学び（第2

回), それを踏まえて第3回は学生たちが創作したボードゲームを用いて, 遊びを取り入れた授業あるいは遊びのある学校生活の具体的なヒントを得ることとした。

「遊びの教室」(全3回)

第1回 12月1日(木)

講師: 田村多恵子 鳥取市立湖山小学校教諭

第2回 12月15日(木)

講師: 田村多恵子 鳥取市立湖山小学校教諭

第3回 1月26日(木)

講師: 教養ゼミナール参加学生・大谷直史(教員養成センター)

<つなぐ> 子どもたちが育っていく社会は多様化, グローバル化している。そこには, 地域ごとの課題もあれば, ある社会全体, 地球全体の課題もある。そして, 学校は社会の変化を反映する。そうしたことを前提にしながら, これからの社会ではたらく教員として, どのようなつながりを持つのか/つながるのかを考えてみる機会として, 「つなぐ」教室を含む3つの企画を実施した。企画は, 日本人学校派遣を経験した教員を招く(「つなぐ教室」), 県内の高校での地域活動に参加する(特別企画), 本を入りに視野を広げて未来の教師に自分をつなげていく(ブッククラブ)から成り, さまざまな方法で「つなぐ」「つながる」を考える機会を提供するものであった。

「つなぐ教室」(全2回)

第1回 11月4日(金)

講師: 坂西理之 琴浦町立八橋小学校教諭, ロンドン日本人学校(2011~2013)

第2回 11月10日(木)

講師: 綱本大介 北栄町立大栄小学校教諭, ドバイ日本人学校(2012~2014)

特別企画

第1回 10月20日(木)

鳥取県立鳥取中央育英高校「地域探究の時間」校内発表会

第2回 10月29日(土)

「地域創造ハイスクールサミット2016 in 北栄」(鳥取中部地震のためサミット開催中止)

ブッククラブ(5回開催)

開催時期: 10月下旬~12月(教員養成センター 教職学習室ライブラリー)

柿内真紀(鳥取大学大学教育支援機構・教員養成センター)

大谷直史(鳥取大学大学教育支援機構・教員養成センター)